

令和7年度 学校関係者評価シート(中間評価)

令和7年 10月 29日
広島城北中・高等学校

評価項目	評価	理由・意見
目標, 指標, 計画等の設定の適切さ	B B C	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価項目としては適切。 ・未実施、未達の項目にはA～Dの評価ではなくNや「—」をいれるべきではないか。
計画の進捗状況の評価の適切さ	B B A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値と実績値とに大きな乖離がある項目については評価の見直しが必要なものもあるのではないか。 ・進捗状況の評価は非常に適切。
目標達成に向けた取組の適切さ	B B C	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は決して高すぎるということはなく、適切である。 ・項目によっては目標をより具体的に示す必要がある。
評価結果の分析の適切さ	B B B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の分析はより取り組み内容を具体的に示してもらいたい。 ・自己評価の低い項目がある。
今後の改善方策の適切さ	B B A	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員の取組みや研修内容についても示してもらいたい。 ・年度末に向けて、現在示されている改善方策が有効だったかどうかの分析をしてもらいたい。 ・概ね適切である。
総合評価	B B B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価は適切である。

A:とても適切である/B:概ね適切である/C:あまり適切でない/D:まったく適切でない/N:判定できない

学校関係者評価委員会（質問、意見等まとめ）

- 海外研修に関して、中高生のうちに異文化に触れるというのは、語学力の向上だけでなく、人間性の向上という面においても大事な役割を果たしていることは認識している。多くの生徒にぜひ積極的に参加してほしいと思うが、実際学校側が想定しているよりも応募者が少ないのは何が原因なのか。海外に興味を持つ生徒が限定的である原因はさまざまあると思うが、しっかり分析をして次年度以降改善できる部分については対策をしてもらいたい。
ー興味を持つ生徒は多数いる。ただし事前学習や事後学習を含めるとおよそ1年間のプログラムになる。海外へ行ってただ楽しむだけの「旅行」ではなく「研修」だということ、また広島を代表して行く、学校を代表して行くといったことの責任を重く受け止めて敬遠してしまう生徒もでてくる。今後の課題としてはこの研修に参加することで自分の将来のニーズにいかにつなぐか、といったことも踏まえてアピールしていく必要がある。あとは海外研修中に訪れる「世界遺産」について見聞を広めるということにも活動を広げていければと思っている。
- 進学校として、進学実績をより上げていかなければならない。そのためには各模試の目標偏差値も達成していかなければならない。どの学年も学力向上に向けて一生懸命取り組んでいると思うが、今後も引き続き現状分析をして少しずつでも目標値に近づけてほしい。
- 各分掌で昨年度と変えたところはどこか？各部それぞれ一昨年度よりも昨年度、昨年度よりも今年度、と工夫をされてきている。そこをもっと周囲にアピールできたらいいのではないか。もちろん達成目標等の分析は重要なことではあるが、普段の取り組みをもっと「見える化」していくと、よりアピールになるのではないか。
- 学校全体での「企画」はたくさんあるし、それに加えて先生方の「個」による取り組みも多くなされている。進路指導なども AI に頼る部分も出てくるとは思うが、最終的にはやはり「人」なので、城北ならではの指導を今後ももっとアピールしてもらいたい。
- 学校評価として A～D の判定で自己評価されているが、アンケートが実施されていないものについては「判定できない (N)」という評価にしてもいいのではないか。